

令和4年度事業計画

1 基本方針

岸田首相は、就任当初の所信表明の中で「新型コロナを克服し、全ての人が生きがいを感じられる、多様性が尊重される社会を目指します。」と述べています。

我が国は超高齢化社会へ向かって進んでおり、「シルバー事業」は高齢者の生きがいを創出するために重要な役割を担っています。

しかしながら、「高年齢者雇用安定法」が改正され、事業主に対して、働く意欲のある高年齢者に「70歳までの就業機会の確保」が努力義務として課されるなど、シルバー人材センターの会員確保にとっては、厳しい環境となっています。

新見市においては、持続可能な地域社会の実現を目指した取り組みを推進しており、多様化する住民ニーズに対応するため、行政だけでなく、様々な主体によるまちづくりが求められており、シルバー人材センターの役割も大きいものと考えられます。

こうした中で、新見市シルバー人材センターは、「自主・自立・共働・共助」の基本理念に基づき、地域の皆様に信頼される「魅力あるシルバー人材センター」づくりに、より一層努力し、市民ニーズに迅速に対応できる体制を整えて、安全で安心な暮らしやすいまちづくりに貢献して参ります。

また、事業運営にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の徹底を実践しながら、行政を始め関係機関等と連携して法人関係者が一体となって、センター機能の充実と安定した運営に引き続き積極的に取り組んで参ります。

2 事業計画

(1) 就業機会の拡大

- ① 就業の基本である「皆で開拓、皆で就業」を合言葉に、会員一人ひとりが発注者の満足度を高め、信頼関係を築けるよう、会員総参画による就業開拓を推進します。
- ② 就業開拓推進員による一般家庭、民間企業及び関係団体等の訪問を実施し、就業ニーズの把握・分析等を行い、会員の意欲と能力に応じた就業機会の開拓に努めます。

(2) 会員の拡大

- ① シルバー事業の活性化には、会員の拡大が必要不可欠であり、組織を挙げて

魅力あるセンターづくりを進めるとともに、新規会員の開拓に努めます。

- ② 事業（入会）説明会を計画的に実施し、各世代のニーズに応じた就業形態、就業機会の創出等をアピールする中で、働く意欲のある会員の拡大に取り組みます。

（3）安全・適正就業の推進

- ① 安全・適正委員による就業現場への巡回パトロールを引き続き毎月実施し、安全保護具の着用等、「安全はすべてに優先する」を徹底するよう、安全就業の指導を行います。
- ② 公正・公平な就業は事業運営の基本をなすものであり、長期就業の見直しや就業の交替、分かち合いによる就業機会の見直し、発注者へのアンケート調査による就業の調整等を行い就業の適正化を図ります。

（4）労働者派遣事業の推進

労働者派遣事業については、官公庁や企業等に対して積極的に働きかけ、新たな職種の就業開拓等に取り組みます。

（5）有料職業紹介事業の推進

有料の職業紹介事業については、新たな職種の拡大等へ向けて体制の整備を図ります。

（6）組織活動の活性化

- ① 職群班を充実することにより、班員の親交・連帯意識の高揚と班同士での仕事の調整等、現場の声をすみやかに運営に生かす体制を築き、自主自立、共働・共助による組織化を進めます。
- ② 女性会員が参加しやすい就業分野の開拓や、女性会員の入会を促す魅力ある講習会の開催等について、女性部会を中心に女性ならではの視点で積極的な意見交換を行いながら、男女共同参画の明るく活動しやすいセンターづくりに取り組みます。

（7）普及啓発活動の推進

シルバー人材センター事業への理解と信頼が得られるよう、一般市民や事業所、官公庁に対し啓発用リーフレット等の配布、ホームページ、マスコミ（新聞・ケーブルテレビ）、イベント等を通じた PR 活動に積極的に取り組みます。

（8）社会参加活動の推進

ボランティア活動として、多くの市民が憩う公共公園等の樹木の剪定、草刈り、草取り、清掃等の作業を、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底しながら実施します。また、各地域の清掃活動等へそれぞれ積極的に参加していきます。

(9) 研修会・講習会の開催

発注者からの多様な就業依頼に対応するため、県連合会等と連携した講習会に併せて、新見市シルバー人材センター独自の各種講習会を計画したいと考えていますが、コロナ禍を踏まえて慎重に検討します。

また、会員及び市民に魅力ある各種講座等についても、情勢を見守りながら検討していきます。

なお、全シ協、県連合会等の研修会については、オンライン研修を中心に積極的に参加します。